

様式 8

「川づくり団体」部門

## 河川基金助成事業

### 「堀川検定（仮称）の制作と実施体制の構築」

助成番号：2021-6112-015

水辺とまちの入口研究所

秀島栄三

2021 年度

## 1. はじめに

名古屋の堀川は、清洲城と城下町を今の名古屋都心部に移転した後、1610年に開削され、つくられた川である。感潮河川でほとんど流れがなく、高度経済成長期には水質悪化が著しくなった。その後、マイタウン・マイリバー整備などの公共事業、堀川1000人調査隊などの市民参加の動きが活発化し、近年では水質は改善する方向に向かっている。人々、店舗は川沿いに戻りつつあるが、名古屋の母なる川でもあり、都心にあるにもかかわらず、市民の誰もがよく知っているという状況にはない。

そこで、水辺とまちの入口研究所では、少しでも多くの人に名古屋の堀川に関心をもってもらうために、堀川に関する知識を問う「堀川検定」を実施し、上級編合格者を「堀川アンバサダー」に任命し、堀川の魅力を広めてもらい、川を活かした地域づくりに厚みが増すことを期待した。今後も継続的に実施できるよう専用ウェブサイトを立て上げ、初級編、中級編、上級編を運営する体制を構築した。以下では事業の内容、成果をまとめるとともに今後の展望に言及する。



図1 堀川検定ウェブサイト・ホームページ

## 2. 事業の全容

### 2.1 検定のかたち

当初は「一般社団法人まちづくり推進機構」による「まちづくり検定」の枠組みに沿うことを予定していたが、先方からその必要はないとのご判断をいただき、独自の方法を模索することとした。

また、試行30名と本格実施300名を目指していたが、前者を初級編とし、ウェブ上で不特定多数の受験者が何回でも受験可能、自己採点可能にして敷居を下げるとともに、後者を中級編・上級編とし、今後に続けることを念頭に試行の側面も持つ形に組み直し、70名

定員と小規模にして 64 名の申込者数を得た。

- ・初級編：いつでも簡単に実力チェックできる。ウェブサイト上で試験、○×式。
- ・中級編：年 1 回の試験日に向けて学び受験する。ウェブサイト上で試験、択一式。
- ・上級編：中級合格者に問題を郵送、論文式。2 週間内に解答を作成、提出する。

中級編合格者は上級編を受験可能であり、上級編合格者のうち優秀者を堀川アンバサダーに任命することとした。

## 2.2 申込から受験までのながれ

初級編はいつでも誰でも受験、自己採点を可能とする。中級編は、事前に申込み、決められた日にオンラインで受験する。中級編合格者には上級編の問題を送り、2 週間以内に問題を解くこととした。

### ▶中級編 申込

2021 年 12 月 20 日（月）から

2022 年 1 月 20 日（木）まで

↓

### ▶オンライン試験日

2022 年 1 月 30 日（日）10 時から 11 時

↓

### ▶中級編 結果発表・合格者へ上級編受験 ID 等連絡

2022 年 2 月 13 日（日）

↓

### ▶上級編 解答期限

2022 年 2 月 27 日（日）

↓

### ▶上級編 結果発表

2022 年 3 月 20 日（日）

上級編合格者を堀川アンバサダーに任命する。愛知県のみん延防止等重点措置を受け、任命式は 5 月 6 日の堀川フラワーフェスティバル開会式の中で行うこととした。



図 2 各レベルの出題イメージ

## 2.3 実施主体

「堀川まちづくりの会」で堀川検定の企画を提案し、会の事務局である名古屋市の関係部局、会に参加する 5 つの団体の協力を得て実施することとした。

- ・名古屋市緑政土木局河川部
- ・名古屋市上下水道局企画経理部
- ・堀川 1000 人調査隊
- ・堀川文化探索隊
- ・堀川文化を伝える会
- ・堀川まちネット
- ・レトロ納屋橋まちづくりの会



図 3 編集作業

5 団体に問題原案の作成を依頼、「水辺とまちの入口研究所」でも問題を作成、堀川に関する歴史、文化、環境、事業などさまざまな分野から出題した。出題分野に偏りが生じないこと、文言の統一性などを考慮するために編集作業を行った。

11 月に市 2 部局、有識者 2 名、「水辺とまちの入口研究所」で構成する「監修委員会」を開催し、初級編、中級編、上級編の出題内容を固めた。「監修委員会」は検定終了後に採点の妥当性、合格者の選定について検証を行った。



図 4 監修委員会

出題準備と並行して堀川検定専用のウェブサイトを作成した。ホームページ（図 1）、堀川検定とは？、学習ガイド、堀川検定初級編（クイズ）、実施概要・申込の各ページで構成し、大学のオンライン授業などで用いられるフリーフェア Moodle を使って中級編の受験プロセスをオンライン上で可能にした。ウェブサイト上の仕組みは今後の開催においても若干の加筆修正を施すことで利用可能なものとした。

表 1 に全作業行程をまとめた。

表 1 全作業行程

| 時期  | 事項                                                                                      | 企画メンバー                                                     | 備考                                                                      |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 6月  | 各団体に相談・依頼<br>河川計画課に相談                                                                   | 依頼<br>企画の詳細検討                                              | 6/19 ほりけん会議①                                                            |
| 7月  | 問題案作成依頼（9月締切）                                                                           | 問題作成依頼<br>外注依頼内容検討                                         | 7/9 ほりけん会議②<br>7/15 問題作性依頼                                              |
| 8月  | ウェブサイト作成                                                                                | ウェブ企画検討<br>ウェブ制作委託・打合せ                                     | 8/2 ほりけん会議③<br>8/10 堀川ラウンドテーブル出席<br>8/24 ほりけん会議④                        |
| 9月  | 問題まとめ（9/15月締切）<br>問題編集                                                                  | 問題作成<br>問題案とりまとめ<br>出題者の顔ページ記事作成                           | 9/5 ウェブ制作打合せ①<br>9/15 作成問題提出期限<br>9/20 ほりけん会議⑤<br>9/30 ウェブ制作打合せ②        |
| 10月 | 問題編集<br>問題監修オブザーバと意見交換                                                                  | 初級、中級、上級問題作成、解説文案作成<br>ウェブ掲載文作成<br>ほりかわ検定実施要領作成            | 10/6 出題者の顔・依頼<br>10/9 ほりけん会議⑥<br>10/30 ウェブ制作打合せ③                        |
| 11月 |                                                                                         | 検定SNSの箱作成<br>初級編QuizGeneratorサイト作成<br>中級編問題解説作成            | 11/8 ウェブ制作打合せ④<br>11/15 監修委員会<br>11/22 ウェブ制作打合せ⑤<br>11/29 ウェブ制作打合せ⑥     |
| 12月 | 12/4 ウェブサイト公表<br>12/4 検定実施の告知、SNS発信、初級編開始<br>12/20 中級編申込受付<br>引続き広報                     | SNS発信<br>広報、関係団体へ周知<br>SNS発信<br>受付名簿作成、MoodleID、パスワード設定    | 12/初 ほりけん会議⑦<br>12/末？ ほりけん会議⑧<br>※申込者が多ければ、分割して受験者へ実施要領<br>連絡（ID、パスワード） |
| 1月  | 1/1 広報なごや掲載<br>1/20 申込締切<br>1/23 受験者へID等連絡<br>1/30(10-11時) 中級編試験の実施                     | 受験者へ実施要領連絡（ID、パスワード）<br>Moodleへ問題掲載<br>採点作業、合格ライン設定、結果発表準備 | ※1/11～20期間で35名受付<br>1/中 ほりけん会議<br>※試験日直前にリマインダーをBCCで送る<br>※中級編試験日は川縁に待機 |
| 2月  | 2/13 中級合格発表onウェブ<br>合格者へ上級編ID等連絡<br>2/27 上級編回答期限                                        | ウェブ上で中級合格発表<br>上級受験者へ実施要領連絡（ID、パスワード）                      | 2/4 ほりけん会議⑨中級採点                                                         |
| 3月  | 3/初 上級編・事前採点<br>3/初 上級編・監修委員採点<br>3/20 上級合格発表onウェブ<br>中級・上級合格者へ認定証<br>過去問PR集作成、アンバサ紹介作成 | 認定証はメール送付<br>過去問をウェブ掲載<br>報告書作成                            | 3/5 ほりけん会議⑩上級採点<br>3/8 監修委員会                                            |

## 2.4 広報

以下のキャッチコピー、コンセプトをベースにして、水辺とまちの入口研究所 HP、同 Facebook、堀川検定 Twitter、同 Instagram を使って周知に努めた。受験促進に向けて缶バッジ、検定ロゴマークの焼印、堀川アンバサダー用バッジを作成した。

「名古屋の母なる川を知っているか めざせ！堀川アンバサダー」

堀川に関する深い知識を問う、2021年に創設された新しい検定。  
本当の名古屋らしさを知りたいと思うなら、「堀川」を極めましょう。  
川が育む、まち、人、産業、文化が見えてきます。  
知りたい、極めたい。その想いを堀川関係団体が応援します。  
堀川を極めた人には堀川の魅力を広める役 “アンバサダー” になってください！

市の勧めもあって広報なごや1月号に告知を掲載していただいた。また、新聞にも予告する記事が掲載された。





図 5 Twitter 一例

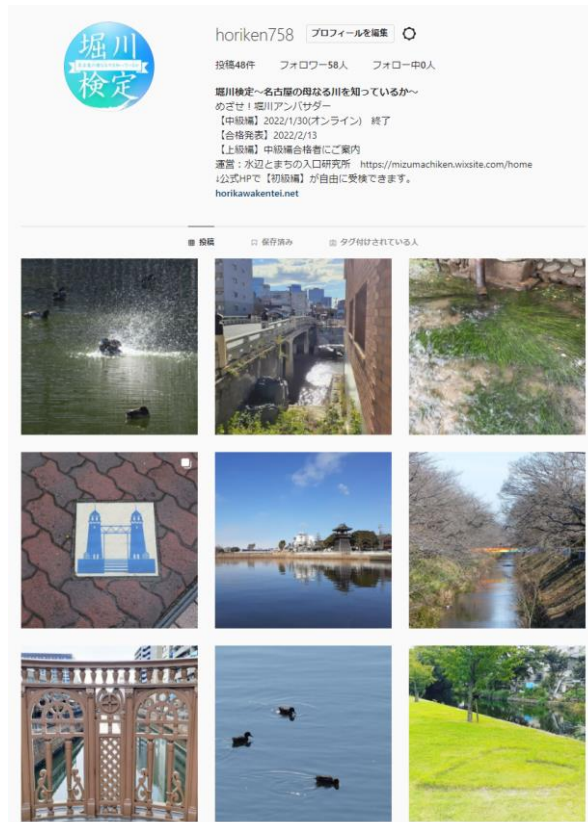


図 6 Instagram 一例

**堀川検定**  
**～めざせ!堀川アンバサダー～** **無料**

上級合格者のうち優秀者を「堀川アンバサダー」に任命

★初級…オンラインで受験  
**日時** 随時

★中級…オンラインで受験  
**日時** 1/30(日)午前10:00～11:00  
**対象** 先着で35人  
**受付** 1/11(火)午前10:00～

★上級…中級合格者へ2月中旬に問題を送付。解答期限は2/27(日)

**案内** ホームページ  
**問合せ** 水辺とまちの入口研究所  
☎735-5586 FAX735-5586  
(緑政土木局河川計画課  
☎972-2823 FAX972-4193)  
**HP** horikawakentei.net



図 7 広報なごや令和 4 年 1 月号 掲載記事

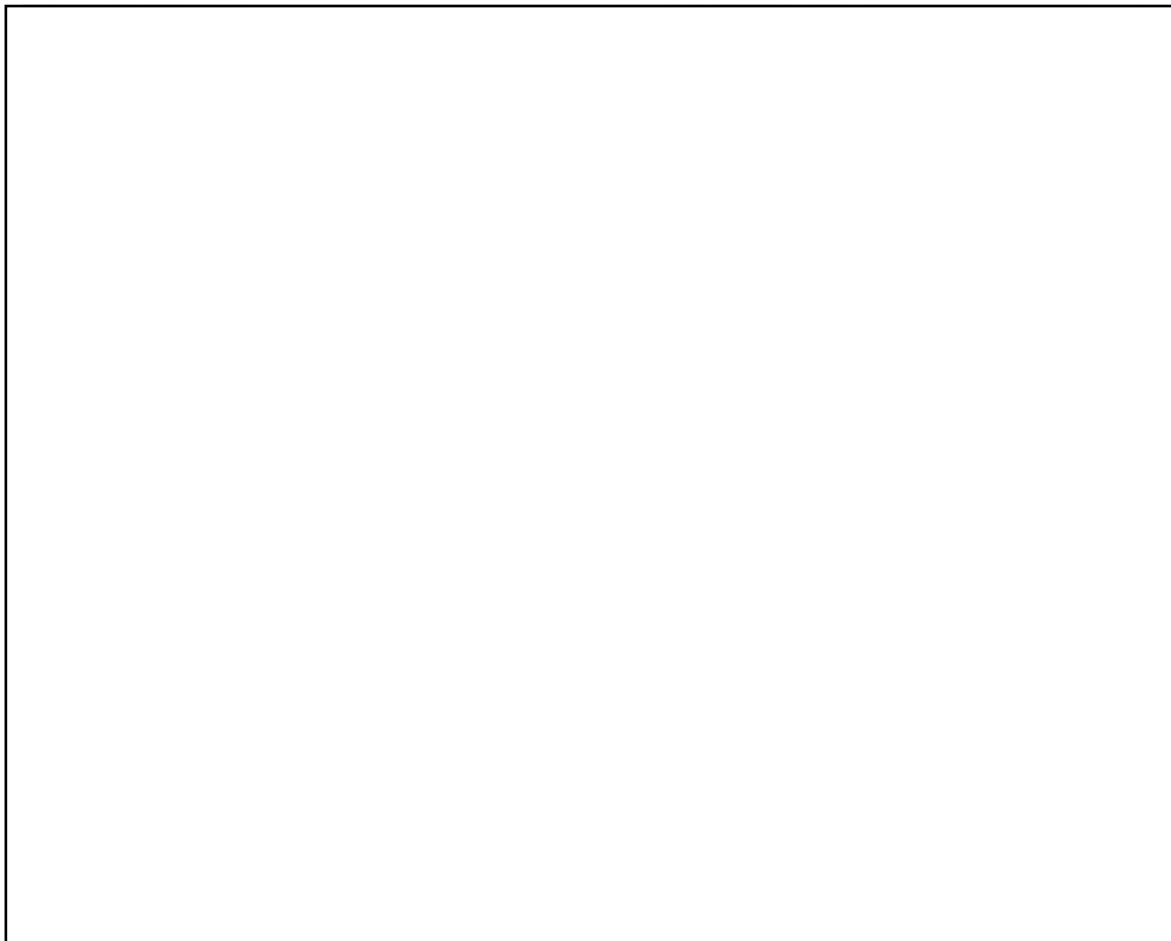


図 8 読売新聞 2022 年 1 月 13 日朝刊 掲載記事

3. 出題と結果

中級編ではおよそ図9のような問題30題を出題した。四肢選択である。なお、今後の展開上、差し障りがあるので一部伏せることをご容赦願いたい。

**中級編試験 問題**

堀川検定 中級編  
試験日時：2022年1月30日（日）10:00～11:00  
※この試験は、参考書、インターネットなどを参照可能です。

| 番号 | 問題                                                                                                                                                                                           |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 現在の堀川の起点と終点はどこか。<br>(ア)起点は水分橋、終点は堀川口防潮水門<br>(イ)起点は堀川口防潮水門、終点は水分橋<br>(ウ)起点は名古屋港、終点は庄内川からの分派点<br>(エ)起点は庄内川からの分派点、終点は名古屋港                                                                       |
| 2  | 堀川を掘った惣奉行(責任者)は誰か。<br>(ア)前田利光(103万石)<br>(イ)池田輝政(81万石)<br>(ウ)加藤清正(52万石)<br>(エ)福島正則(50万石)                                                                                                      |
| 3  | 明治10年(1877)に堀川上流部の黒川が開削された。なぜ黒川を開削したのか、次のうち最も適切なものを選び。<br>(ア)堀川が汚くなったので、庄内川の水を流し入れて浄化するため<br>(イ)名古屋と犬山の間で舟による輸送ができるようにするため<br>(ウ)大雨が降ったときに排水を良くし、水害を防ぐため<br>(エ)近代化で名古屋の人口が増えてきたので、飲料水を確保するため |
| 4  | 堀川の左岸には材木商が多く集まった町が並んでいる。次の町名の中で使われなかったものを選び。<br>(ア)木挽町<br>(イ)元材木町<br>(ウ)中材木町<br>(エ)下材木町                                                                                                     |

12 堀川沿いには江戸時代に見えて有名だった場所があり、尾張名所図会に載っている。堀川七橋の一つ日置橋から現在のどのあたりまで橋が架かっていたか、次のうち最も適切なものを選び。  
(ア)新洲崎橋近く  
(イ)岩井橋近く  
(ウ)古渡橋近く

19 堀川に架かる橋の灯について、それぞれの橋にあるものか、正しい組み合わせを選び。

| 橋名   | 灯の種類   |
|------|--------|
| 岩井橋  | b: 岩井橋 |
| 日置橋  | b: 日置橋 |
| 新洲崎橋 | b: 岩井橋 |
| 古渡橋  | b: 日置橋 |

堀川市は、江戸時代に見えて有名だった場所があり、尾張名所図会に載っている。堀川七橋の一つ日置橋から現在のどのあたりまで橋が架かっていたか、次のうち最も適切なものを選び。  
(ア)新洲崎橋近く  
(イ)岩井橋近く  
(ウ)古渡橋近く

堀川市は、江戸時代に見えて有名だった場所があり、尾張名所図会に載っている。堀川七橋の一つ日置橋から現在のどのあたりまで橋が架かっていたか、次のうち最も適切なものを選び。  
(ア)新洲崎橋近く  
(イ)岩井橋近く  
(ウ)古渡橋近く

図9 中級編出題例

受験の結果がどのようなであったかをまとめる。

定員：70名  
申込者数：64名  
受験者数：アクセス54名、解答者51名  
問合せ数：重複申し込み4名、メールアドレスが違って1名  
ID届いていない2名、PDFが見れない2名、ログイン不可3名

中級編結果  
最高点：23点  
最低点：7点  
平均点：14.5点/30点

上級編  
10名がチャレンジ  
2/13～27までの2週間

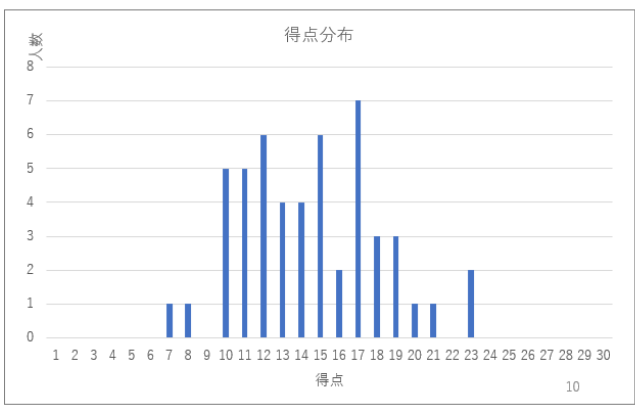
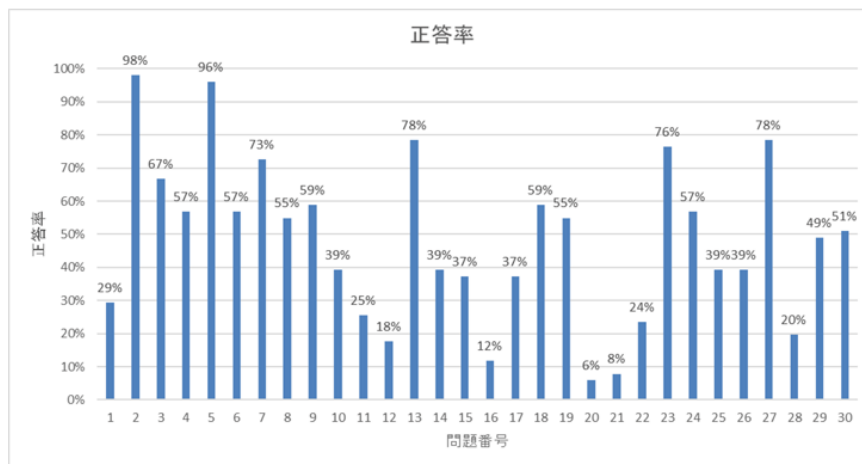


図10 中級編解答状況



| 正解   | ウ  | エ  | イ  | ウ  | ウ  | ウ  | ア  | エ  | ウ  | ウ  | ウ  | エ  | イ  | ウ  | ウ  | イ  | ウ  | ウ  | エ  | ア  | イ  | エ  | ウ  | イ  | イ  | ウ  | イ  | ア  | ウ  | イ  |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
|      | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| ア解答数 | 7  | 0  | 8  | 2  | 2  | 16 | 38 | 14 | 5  | 6  | 7  | 16 | 1  | 17 | 6  | 18 | 5  | 5  | 2  | 6  | 18 | 20 | 2  | 10 | 5  | 8  | 3  | 9  | 5  | 19 |
| イ解答数 | 2  | 1  | 35 | 9  | 0  | 1  | 1  | 1  | 12 | 19 | 13 | 9  | 1  | 10 | 11 | 8  | 21 | 5  | 8  | 12 | 5  | 9  | 2  | 29 | 20 | 16 | 38 | 12 | 5  | 27 |
| ウ解答数 | 16 | 0  | 2  | 32 | 48 | 30 | 8  | 8  | 32 | 20 | 16 | 15 | 7  | 21 | 19 | 7  | 20 | 31 | 13 | 16 | 18 | 7  | 40 | 7  | 22 | 21 | 2  | 8  | 24 | 2  |
| エ解答数 | 25 | 49 | 5  | 7  | 1  | 4  | 4  | 28 | 2  | 6  | 15 | 11 | 42 | 3  | 15 | 18 | 5  | 10 | 28 | 17 | 10 | 15 | 7  | 5  | 4  | 6  | 8  | 22 | 17 | 3  |



回答率が高いのは「福島正則」「カブトビール」「桑名」「食物連鎖」「松重閘門」  
 回答率が低いのは「堀川口駅」、「巾下水道」、「尾頭橋」

図 11 中級編解答状況

上級編では図 12 のような 5 問を出題した。2 週間のうちに撮影を求める問題、図書館などで資料を収集することで解答可能な問題などである。

堀川検定 上級編

提出締切日：2022 年 2 月 27 日（日）21：00 まで

※上級編は、現地へ出向き、書籍等を調べて答える問題です。

| 番号 | 問題                                                                                      |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 江戸時代に開削されてから堀川は徐々に区間を伸ばしてきた。その経緯を歴史的背景と対応させて述べよ。<br>(解答は別添の原稿用紙に記述すること、400 字×2 枚以内)     |
| 2  | あなたの考える堀川の魅力を自由に述べよ。<br>(解答は別添の原稿用紙に記述すること、400 字×2 枚以内)                                 |
| 3  | 堀川の住吉橋・瓶屋橋間左岸にある、矢印のコンクリート構造物は何のために造られたのでしょうか？<br>根拠となる資料を示し、答えて下さい。<br>(2021 年 12 月撮影) |
| 4  | 昭和 21～22 年の堀川風景です。<br>ここはどこでしょうか？<br>写っている橋の名前を答えてください。また、現在の同じ場所に立ち、同じ方向の写真撮影してください。   |

5 昭和 25 年頃の堀川の風景です。  
これは何をしている様子を撮影したもの  
でしょうか？  
どこで、何をしているかを答えて下さい。



(写真 丹坂和義氏所蔵)

堀川検定問題の二次利用はご遠慮下さい。二次利用をご希望の際は、堀川検定運営事務局【水辺とまちの人口研究】までご連絡ください。

堀川検定問題の二次利用はご遠慮下さい。二次利用をご希望の際は、堀川検定運営事務局【水辺とまちの人口研究】までご連絡ください。

図 12 出題内容

中級編合格者 10 名のうち上級編について解答を提出した者は 9 名であった。

採点方法として、5 問×20 点＝100 点満点とし、スタッフ 5 人が採点した結果の平均に対し、監修委員会から意見をもらい、場合によって採点を見直すこととした。採点して疑義が生じた場合は監修委員会に諮ることとした。

表 2 上級編得点結果

|     |    | 5    | 12   | 18   | 29   | 51   | 58   | 62   | 63   | 64   |
|-----|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 問 1 | 平均 | 14   | 17.6 | 7.4  | 15   | 10.4 | 14.2 | 15   | 14.8 | 13.2 |
| 問 2 | 平均 | 15.5 | 16.5 | 11.3 | 16.3 | 13   | 16   | 16.3 | 9    | 0    |
| 問 3 | 平均 | 16.2 | 12   | 1.6  | 18.4 | 0    | 13.6 | 17.8 | 7.2  | 13.4 |
| 問 4 | 平均 | 13   | 13   | 20   | 20   | 4    | 20   | 20   | 13   | 14   |
| 問 5 | 平均 | 12.6 | 18   | 8    | 8    | 8    | 18   | 16   | 14   | 20   |
| 合計  |    | 71.3 | 77.1 | 48.3 | 77.7 | 35.4 | 81.8 | 85.1 | 58   | 60.6 |

19

監修委員会での意見交換の結果、以下のように採点を修正した。

表 3 監修委員会による得点の修正

|     |    | 5    | 12   | 18   | 29   | 51   | 58   | 62   | 63   | 64   |
|-----|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 問 1 | 平均 | 14   | 17.3 | 7.2  | 17   | 10.7 | 14.1 | 15   | 14.9 | 13.1 |
| 問 2 | 平均 | 12.8 | 16.3 | 11.1 | 17.1 | 14.5 | 16   | 16.1 | 8    | 0    |
| 問 3 | 平均 | 15.6 | 12   | 0.8  | 14.2 | 0    | 12.3 | 17.8 | 4.6  | 13.4 |
| 問 4 | 平均 | 13   | 13   | 20   | 20   | 7    | 20   | 20   | 13   | 12   |
| 問 5 | 平均 | 11.8 | 18   | 8    | 8    | 8    | 18   | 16   | 14   | 20   |
| 合計  |    | 67.2 | 76.6 | 47.1 | 76.3 | 40.2 | 80.4 | 84.9 | 54.5 | 58.5 |

20

採点を修正してもなお 3 番目と 4 番目が僅差であったため、当初 3 人とすることを予定していた堀川アンバサダーを 4 人に変更した。

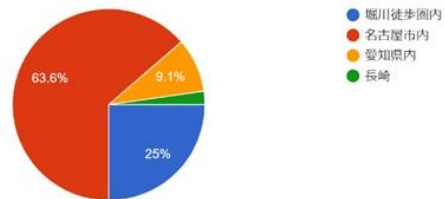
#### 4. まとめと今後の展開

以上のようにして、名古屋市、諸団体の協力を得て無事に「堀川検定 2022」を終えることができた。参加者数なども成果のうちであるが、中級編の実施後に参加者に依頼したアンケート調査の回答が今後の展開にとっても役立つ示唆深いものとなった。回答いただいた参加者にも深く感謝申し上げたい。

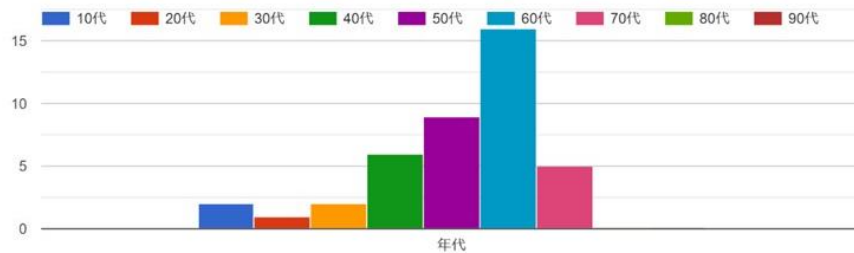
以下にアンケートの結果と考察をまとめる。まず、名古屋市外、長崎からも受験があったことは特筆すべきことであろう。コロナ禍を受けて完全オンラインにしたことが「禍転じて福」となった。そして堀川で活動する主要な層は 60-70 代であるが、受験者の年齢層は明らかに下方にシフトしている。広報なごやで知った人が多かったこともあり、必ずしも堀川に深く接することがない層を取り込めた。

## お住まい（省略可）

44 件の回答



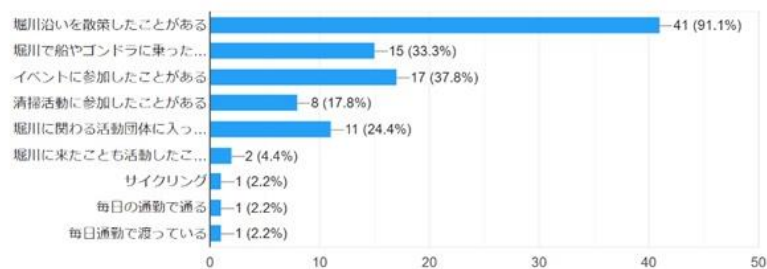
## 年代（省略可）



13

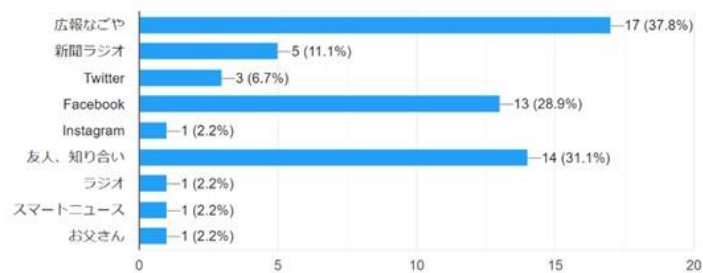
## 1. これまで堀川に来たことや何かの活動をしたことがありますか。

45 件の回答



## 2. 堀川検定のことを何で知りましたか。

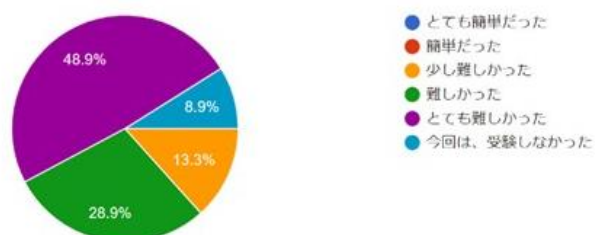
45 件の回答



14

## 3. 今日の試験問題はいかがでしたか。

45 件の回答



出題内容については難しいという印象が強かったようである。このことも含め、感想や意見を踏まえ、次回以降に検定の実施方法、出題内容を検討していきたい。以下に自由記述の感想や意見を掲載する。

・やはり難しかったです。また全体的なバランスが良かったです。  
・60分で4択30問の問題かつ回答は別ページでは、私には厳しい試験でした。  
・問題と回答が別々になっているのはオンライン受験としてはとてもやりにくい。設問と回答欄を並べてほしい。  
・歴史や文化、生態系、歌など様々な角度からバランスよく出題があり、改めて堀川沿いの深さを感じました。想定よりも難しかったですが、持ち込み有であることを考慮すれば、ちょうど良い難易度だったと思います。19や25など現地の写真から推測する問題に心を操られました。特に19は面白かったです。反対に、年号が少しズレた選択肢を選ばせる問題(認識違いであればすいません)は、重箱の隅をつつくような嫌いがあり、ただ難しいだけ、と思ってしまいました。しかしながら、全体としてはとても楽しく、問題を通じて新たな知識を得ることも出来ました。どうもありがとうございました。  
・ネットを使える環境が携帯からしかなく、しかも、うまくPDFを繋げることができず、練習問題もできなかったのは残念でした。試験始まって、問題の画面と答えを書く画面が違ったので、まず、問題をひたすらスクショしました。なので、試験に取りかかったのは10時15分過ぎていたと思います。問題もその都度拡大しながら、解答画面と切り替えしながらで、かなり慌てました。あと、携帯からだとか、写真問題がぼやけてしまってわかりづらかったです。今回、受験して、まだまだわからない事があったので、これからも勉強したいと思います。私は、去年、堀川の水分橋から名古屋港まで歩きました。(五回に分けてですが)楽しかったです。次回も、是非受験したいです。ありがとうございました。  
・ちょっとマニアックな問題が多くて、普通の人は、経験者の話を聞いたら引いてしまうかな、と思いました。  
・もう少し簡単にしてほしい。また文章が難しい。  
・回答方法をもっと簡単にしてもらいたい。  
・検定日時に選択自由度を設定出来たら嬉しい  
・検定を受けて初めて知ることが多いです。  
・知らないことがたくさんあることを実感して、楽しかったです。  
・とてもよいと思います。検定をきっかけに、堀川の、名古屋の魅力を見ました。中川運河も検定があると嬉しいです。  
・知らないことがあり、勉強になりました。  
・堀川の試験か、パソコンの習熟度が試されている感じがした！  
・本来なら会場などだとよいのですがコロナで残念です。  
・設問に回答欄を付けてほしい  
・勉強不足でした。  
・どちらかというと堀川上流の設問がすくない  
・広く深く興味を持ってもらうように催事を開催堀川アンバサダーを育成する  
・今後は会場にて行われる検定になるとよいと思います。  
・〇〇ではない選択肢をなくす  
・今回は採点できませんでしたが、名古屋の歴史に関する本を読んで興味が増えました。  
・もう少し簡単にしてほしい。勉強したくても参考書などがなくなかなか厳しかったです。  
・いきなり中級とは無理。初級から段階的に受験すれば達成感？がありそう。  
・当初何を勉強すべきか名古屋検定のようなテキストはないものかと不満、不安に思っていた。が、試験の内容は多義に及んでいて面白く、終わった先から「勉強し自ら答えを探そう」と思えた。知らないことを知ろうとできるよい問題だと思う。実は受験後すぐ午後から船頭平の開門に出かけた。自分たちの生活を作り上げてきた先人たち、守り続けてきた陰なる人々の知恵や働きを知り、自分たちが生活を続ける意味をしっかりと考えたい。この生活は当たり前になり立っているのではないということを子供たちにも伝えていければと思う。郷土の学習をする小学牛向けにも参加、興味をもってもらえる取り組みになるといいですね。

堀川検定 2022 については、愛知県のまん延防止等重点措置を受け、堀川アンバサダー任命式を 5 月 6 日の堀川フラワーフェスティバル開会式の中で行うこととした。他にウェブサイトアンバサダーを紹介、検定をふりかえる解説会の開催を予定する。

堀川検定 2023 については、次のような展開を計画している。

- ・企画立案
- ・学ぶ機会づくり（講座、まちあるき、過去問集など）
- ・問題作成
- ・公式サイト、SNS（Twitter、Instagram、Facebook）による広報
- ・受験者の募集、受付
- ・中級編試験の実施、採点、合格者発表
- ・上級編試験の実施、採点、合格者発表
- ・アンバサダーに関与してもらう方法についての検討

最後になるが、これまで堀川に関心を持つ人はきわめて限られていることをこの河川の課題と感じていた。本事業を通じて県外の受験者、若年層、この種の検定を受験することが好きな人などこれまでと異質な層に関心層を拡げることができた。出題内容、方式、周知方法の質、評判を高めていき、さらに層を拡げていきたい。

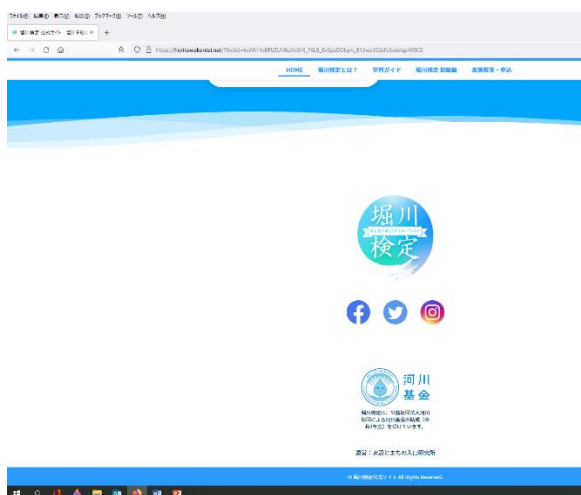
## 謝辞

本事業の遂行に際し、公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けたことに深く御礼申し上げます。また、監修委員会にご参加いただいた皆さまに多大なご協力を賜りました。記して謝意を表します。

様式 1 1

3.川づくり団体部門

[実施箇所位置図]

| 助成番号          |               | 助成事業名                                                                                             |                                 | 所属・助成事業者氏名                                                                           |          |     |
|---------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----|
| 2021-6112-015 |               | 堀川検定（仮称）の制作と実施体制の構築                                                                               |                                 | 水辺とまちの入口研究所・秀島栄三                                                                     |          |     |
|               | 主な実施箇所        | 川縁（水まち研が借りている堀川沿いにある共有スペース）／ウェブサイト                                                                |                                 |                                                                                      |          |     |
| 助成事業の主な実施箇所   | 問題編集会議        |                 |                                 |                                                                                      |          |     |
|               | 河川基金ロゴ等表示状況写真 | 検定専用ウェブサイト<br> |                                 |                                                                                      |          |     |
| 延べ参加人数        |               | 一般                                                                                                | 初級 不明(Web 閲覧), 中級 64 名, 上級 10 名 |                                                                                      | スタッフ・事務局 | 5 名 |
| マスコミの反響       |               | 読売新聞 2022. 1. 13                                                                                  |                                 |  |          |     |